釧路新聞
平成20年(2008年)6月24日（火曜日） 第21188号 【日刊】

日本製紙

エコ路盤材PR仮舗装

ボイラー灰再資源化 芝植生下地にも

日本製紙釧路工場（中山哲工場長）は繊維かすのペーパースラッジから作る路盤材・エコドライボールのPRに本腰を入れる。検証施設として、構内に仮設のゴルフ練習場を設置し、これを下地として植えた芝の植生状況を調査しているほか、〝旅人〟シンガーソングライターの千鶴伽さんが、そのテーマソングを制作中で、7月末にもお披露目する予定だ。

（岸上渉）

千鶴伽さんがテーマ曲も

エコドライボールはボイラーで燃料を燃やしたあとに発生するペーパースラッジ（PS）灰にセメント、石灰を混ぜて高温、高圧で熱処理した粒子。同工場が廃棄物となるPS灰をリサイクルしようと開発した独自技術で、通気性が高く、水分の膨張を防ぐため、凍上防止や土壌改良などにも役立つ。通常の砂や石灰よりも軽いのも特徴。輸送コストが下がり、砂のように山を切り崩さないため、環境保全にもつながる。

千鶴伽さん

同工場では年間4万5000㌧の生産能力があり、市内では地元土木建設業の萬木建設が実用化に成功しているほか、新野の市営牧場でも使用テストを行っている。ゴルフ練習場はこの有効利用策を検証する設備として、鳥取南4丁目の火力発電所の北側に約3万平方㍍の土地に仮設。エコドライボールを下地にした芝の生育状況を調べ、従来の路盤材のみならず、販路拡大を模索する。

日本製紙が売り込みに本腰を入れるエコドライボール。千鶴伽さんの歌にのせて普及拡大を目指す

また釧路でも数度のライブ実績がある千鶴伽さんにも、地元建設業者の仲介で、日本製紙釧路工場のテーマソング制作を依頼。これまで工場との打ち合わせを経て、近く完成。7月28日の同工場の夏祭りでお披露目する予定だ。

千鶴伽さんは〝旅人〟として全国各地に足を運び、その土地の文化や人との出会いをこれまで歌にしてきた。同工場を見学して、「人の営みと自然は逆行することが多い。その上でエコに挑む工場は素晴らしいと思う」とのメッセージを歌に込める考えで、2月の来釧時に披露できなかったツルをテーマにした歌と合わせ、2曲入CDとして発売することにしている。

釧路新聞
発行所
釧路新聞社
©釧路新聞社2008
郵便番号 085-8650
釧路市黒金町7の3
TEL 0154-22-[illegible]111（総務）